

## 第1学年 社会科学習指導案(歴史的分野)

1 単元名 「武士による政治のはじまり ～1221年の承久の乱，あなたならどちらの味方になる?!～」

2 単元について

21世紀初頭の現在，原油価格の高騰に伴う物価高・牛肉や鰻などの産地偽装表示・無差別の通り魔殺人など，日本の社会は秩序やモラルを限りなく低下させている。その一方で，国政選挙をはじめとして投票率の伸び悩みが見られ，若者を中心に政治や社会への参加意識が希薄になっている現実もある。そのような状況の中，将来よりよい社会の形成者となるべき生徒たちにとって，「どのような社会を築いていくべきなのか」という，社会観をはぐくむ学習の意義は大きいと思われる。

承久の乱は，1221年(承久3年)，後鳥羽上皇が鎌倉幕府から政権を奪回しようとして起こした戦いである。武家政権である鎌倉幕府の成立後，京都の公家政権との二頭政治が続いていた。しかし，源氏が三代で途絶えたのを好機ととらえた上皇は，諸国の武士に北条義時追討の院宣を発した。ところが，北条氏と御家人の結束は堅く，思惑に反し京都を幕府軍に占領され敗れた。乱後，上皇は隠岐に流されるなど朝廷の権力は失われ，幕府に従属することとなった。同時に，鎌倉幕府の力が西国にまで及び，全国を支配するきっかけとなった。また，六波羅探題を設置し，皇位継承にも影響力をもつこととなった。

承久の乱の特徴の1つとして，後鳥羽上皇が目指そうとした社会についての考えと北条政子が目指した社会についての考えの対立を挙げることができる。朝廷の代表である後鳥羽上皇と幕府の代表である北条政子のそれぞれが，武士たちに対して身の振り方を論ずるのである。その主張には，2人の人物が目指した社会像・目指した時代像が含まれていると考えられる。このように，主張が分かれた1つの歴史的事象について，多面的・多角的に考察し，価値判断を行うことは現代を生きる生徒にとって意義あることと思われる。

本学級の生徒は全般的に活発で，男女を問わず挙手による発表を行いやすい雰囲気がある。4月に行ったNRTの結果によれば，社会科の偏差値平均は51.5であり，全国平均とほぼ同等の学力をもっていると思われる。小テスト・定期テストへ取り組む意欲も高い。歴史的分野の学習に関しては，1学期に「縄文と弥生，どちらで暮らしたい？」の学習課題を設定し，1単位時間での討論を経験した。また，毎週1枚提出の新聞記事の切り抜き活動も行っており，社会的事象に対する関心の高まりや自分の意見を書くことによる思考・判断力の向上も少しずつ見られる。さらに，夏休みの課題として，歴史新聞の作成も行った。そのため，資料を収集・選択する活動や，話し合い活動を通して自分の思考を高める経験を少しずつ積んできていると言える。しかし，個別の歴史的事象は理解できていても，時代を大観する力や特色を簡潔に表現する力は不足している。また，各時代の特色と現代社会を結び付けてとらえ直す学習活動も不足しており，過去の社会観と現代をつなげて考える力を付けさせる必要があると思われる。

平成20年3月末，文部科学省から新学習指導要領が公示された。現行学習指導要領の理念を踏まえ『生きる力』をはぐくむために，「豊かな心」・「健やかな体」・そして「確かな学力」の重視が引き続き見られる。特に「確かな学力」に関しては，より具体的な方向性・手立てを明らかにしている。それは，基礎的・基本

的な知識・技能の習得，そしてその活用，さらには探究である。また，これらの活動を結び付けるものとしての言語力も重視されている。これらの点に関しては，中学校社会科においても同様である。歴史的分野に関しては，さらに次のような改訂点が挙げられる。それは「歴史の大きな流れを理解するために各時代の特色を踏まえること」「各時代の特色だけでなく，時代の転換点にも着目して構成すること」である。そこで本単元の指導に当たっては，まず平安時代及び鎌倉時代の特色をとらえさせたい。学習の形態としては，一斉授業及び夏休みの課題「歴史新聞づくり」を通して，事実認識を十分に深めさせる。次に，「1221年の承久の乱，あなたならどちらの味方になる?!」をテーマに討論活動を取り入れ，多面的・多角的に考察させる。その活動を通して，後鳥羽上皇が目指そうとした社会と北条政子が目指した社会についてしっかりと考えさせたい。1年生という発達段階を踏まえ，データから導かれる主張とそれらを結び付ける根拠を意識させながら，できる限り論理的に自らの考えを組み立てさせたい。最後に，討論の中で級友の考えに触れることにより，自分の考え・価値観を吟味し，よりよい価値判断をさせたいと考える。そして，それらの学習活動を通して21世紀を生きる公民的資質の基礎，社会形成力・社会観の育成につなげていきたいと考える。

### 3 単元の総括目標

武家政権の成立とその後の政治・社会・文化の動きに対する関心を高め，自ら課題を見出し意欲的に追究できるようにする。その際，様々な資料を収集させ，適切に選択させるとともに，歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察させ，追究し考察した結果を我が国の歴史とかかわる東アジア世界の歴史を背景に理解して説明できるようにする。

### 4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての 知識・理解
武家政権の成立とその後の政治・社会・文化の動きに対する関心を高め，意欲的に追究しようとする。	武家政権の成立とその後の政治・社会・文化の動きから課題を見出し，歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察することができる。	武家政権の成立とその後の政治・社会・文化の動きに関する様々な資料を収集し，適切に選択するとともに，追究し考察した結果をまとめたり説明したりすることができる。	武家政権の成立とその後の政治・社会・文化の動きを，我が国の歴史とかかわる東アジア世界の歴史を背景に理解し，その知識を身に付けている。

### 5 単元の指導計画(全5時間)

- (1) 戦いの専門家「武士」の登場・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (2) 武士による政治のはじまり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (3) 討論「1221年の承久の乱，あなたならどちらの味方になる?!」・・・・ 1時間（本時）
- (4) 海をこえてせめてきた元軍・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (5) 武士の台頭によって形成される文化・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

6 本時の目標

- (1) 学習課題追究のために、主体的に討論・意見交換に参加しようとする。【関心・意欲・態度】
- (2) 討論・意見交換を通して、学習課題に対し、より社会的な判断を行うことができる。

【社会的な思考・判断】

7 本時の展開(3 / 5)

	学 習 活 動	教 師 の 指 導 ・ 支 援
導 入	1 前時までの学習内容を振り返る。	ワークシート（宿題）の確認をさせる。 夏休みの作品(歴史新聞)も提示する。
	2 本時の学習内容を確認する。	討論及び意見交換を通して、最終的な判断を行うことを説明する。 個人の利害に固執せず、社会的な決定を大切にする視点をもっておくことを確認する。
展 開	3 次のテーマで討論を行う。	司会は教師が行う。
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     1221年の承久の乱，あなたならどちらの味方になる?！                 </div>	
	(1) 学習課題に対する最初の判断を確認する。	根拠を添えて記述させておく。 挙手をさせ、それぞれの時代を支持する生徒の数を確認する。
	(2) それぞれの時代を支持する理由を発表する。	生徒が発言すると予想される内容を、あらかじめ把握しておく。
	(3) お互いに、他方の時代を支持する生徒に対して質問をする。 (3分ずつ)	生徒の発言に対して適切な言葉掛けを行い、円滑に進むように配慮する。 参考になると思われる意見は、メモを取るよう指示をする。
(4) 反論を行う。(2分ずつ)	フロアーの生徒の考えに、揺さぶりをかける。	
4 学習課題に対する、2回目の判断を行う。	討論したことを基に2回目の自分自身の判断をシートに記入するように指示する。 この後の意見交換を円滑に進めるために、机間指導を行い、全員が記入できていることを確認する。	
5 意見交換を行う。		
(1) ペア(2人組)で意見を交換する。	級友の判断と比較させることで、自分が優先した価値について吟味させる。	

	<p>(2) 学習グループ(4人組)で意見を交換する。</p> <p>6 学習課題に対する, 3回目(最終)の判断を行う。</p>	<p>級友の意見を聞いて, 考えが揺れている生徒は, そのことも相手に伝える。</p> <p>討論したことやペアやグループで意見交換を行ったことを基にして, 個人で判断することを確認する。</p> <p>最初の自分の判断と比較させ, はじめに自分が優先した価値がどのようになったのかを考えさせる。</p> <p>予想される生徒の変容など</p> <p>最初の考えから考えが変わった。</p> <p>最初の考えがより確かなものになった。</p> <p>どちらがいいのかよくわからなくなってきた。</p> <p>留保条件付きの内容も認める。</p> <p>挙手をさせ, それぞれの時代を支持する生徒の数を確認する。</p>
まとめ	<p>6 「1221年の承久の乱, あなたならどちらの味方になる?」の学習を終えて, これからの社会・時代に望むことについて書く。</p>	<p>討論及び意見交換を行う前の考え(文章)と比較させ, 考えが変容した点や考えがより深まった点, 確かになった点などに気付かせる。</p> <p style="text-align: right;">【評価】</p>

## 8 本時の評価

評価規準	学習課題の追究を通して, 主体的に討論・意見交換にかかわり, より社会的な判断を行うことができる。		
評価基準 支援	A	B	C
	<p>両方の時代を多面的・多角的に考察し, 客観的な根拠を基に, より望ましい社会観(像)を記述することができる。</p> <p>現代社会との関連を考えさせる。</p>	<p>客観的な根拠を基に, より望ましい社会観(像)を記述することができる。</p> <p>相対する立場, またそこからの主張も踏まえさせる。多面的・多角的な考察を意識させる。</p>	<p>望ましい社会観(像)を記述することができる。</p> <p>その主張を支えるデータを意識させる。1つのデータだけでなく, 複数のデータを関連させることに気付かせる。</p>
評価方法	ワークシート		